

■第 1 章■ 年賀状を作る

ワードにはあらかじめ自由に使えるイラストや写真が用意されています。それらのイラストや写真をクリップアートといいます。パソコンがインターネットにつながっていると非常にたくさんのクリップアートを使うことができますようになります。クリップアートを使って年賀状を作ってみましょう。

完成見本



STEP 1. 文書を用意しましょう

新しい文書を開き次のように設定しましょう。

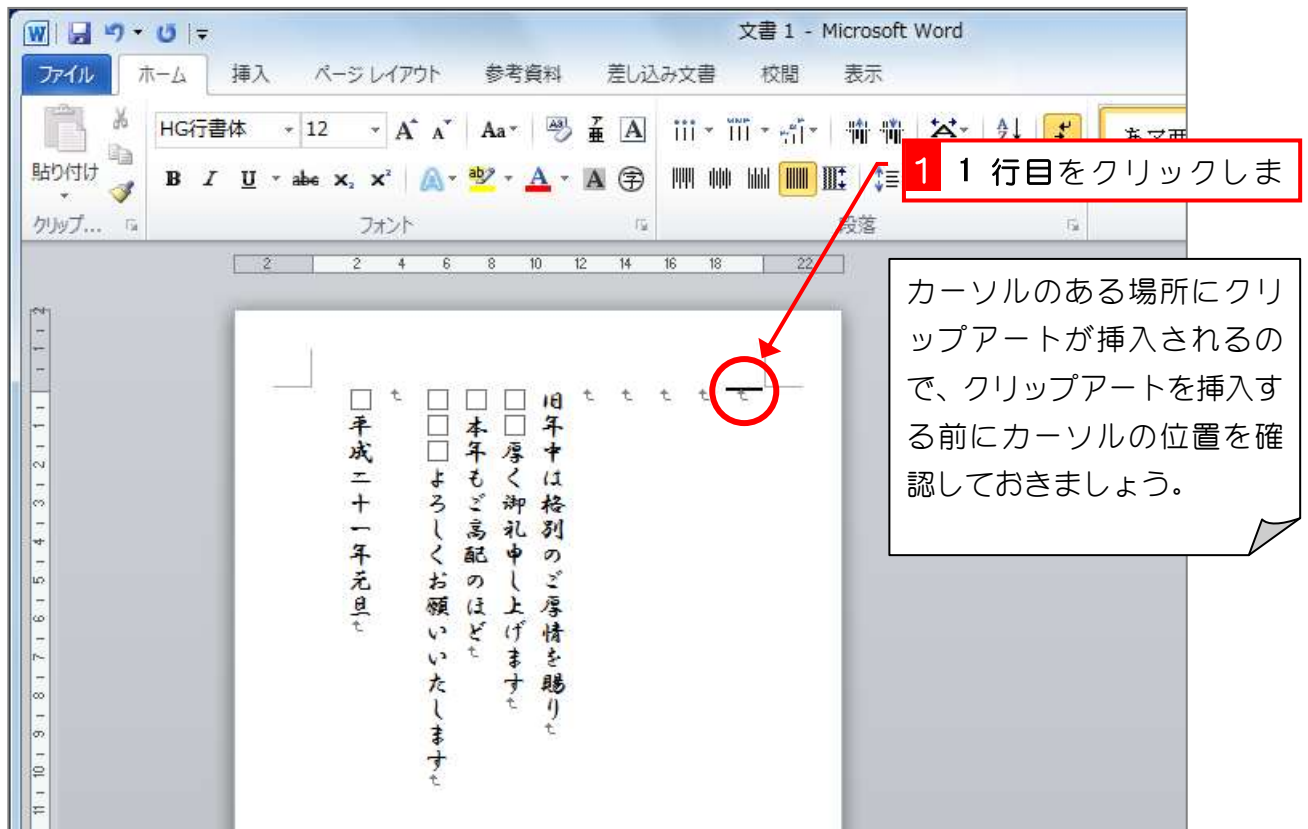
- サイズ：はがき
- 余白：狭い
- 文字列の方向：縦書き
- 印刷の向き：縦
- フォント：HG 行書体
- フォントサイズ：12

1 図のように文書を作成します。

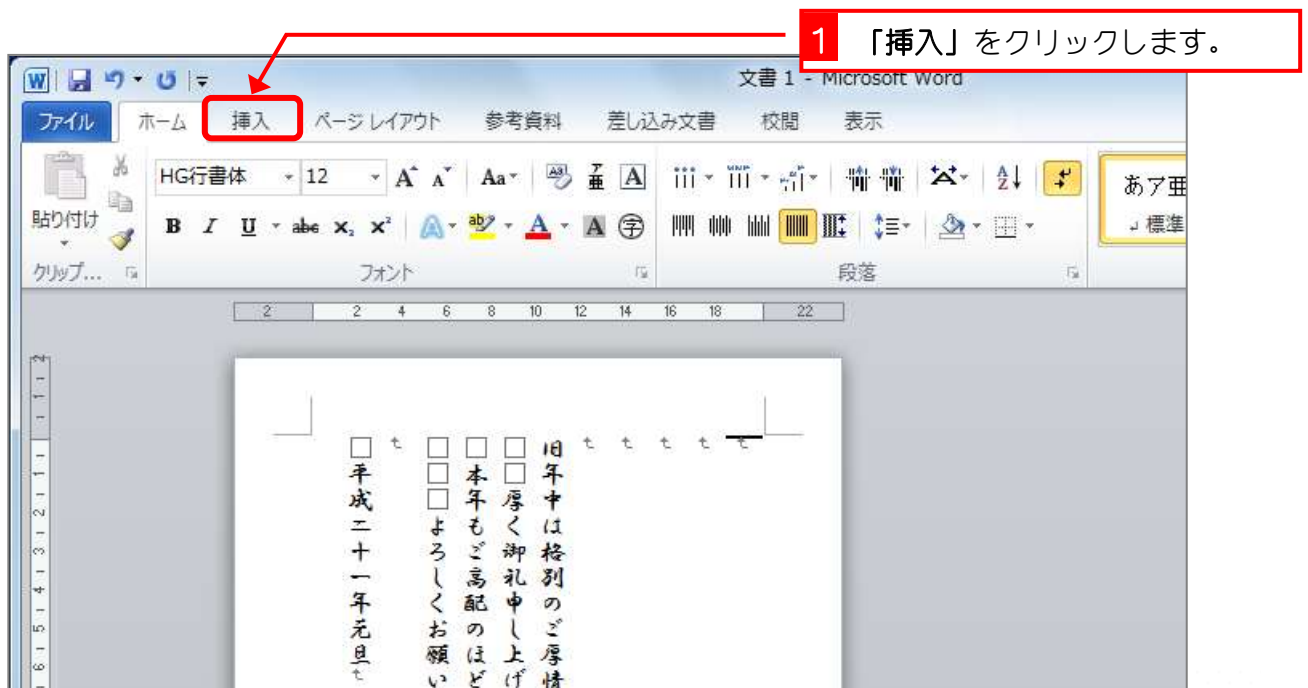
旧年中は格別のご厚情を賜り
厚く御礼申し上げます
本年もご高配のほど
平成二十三年元旦

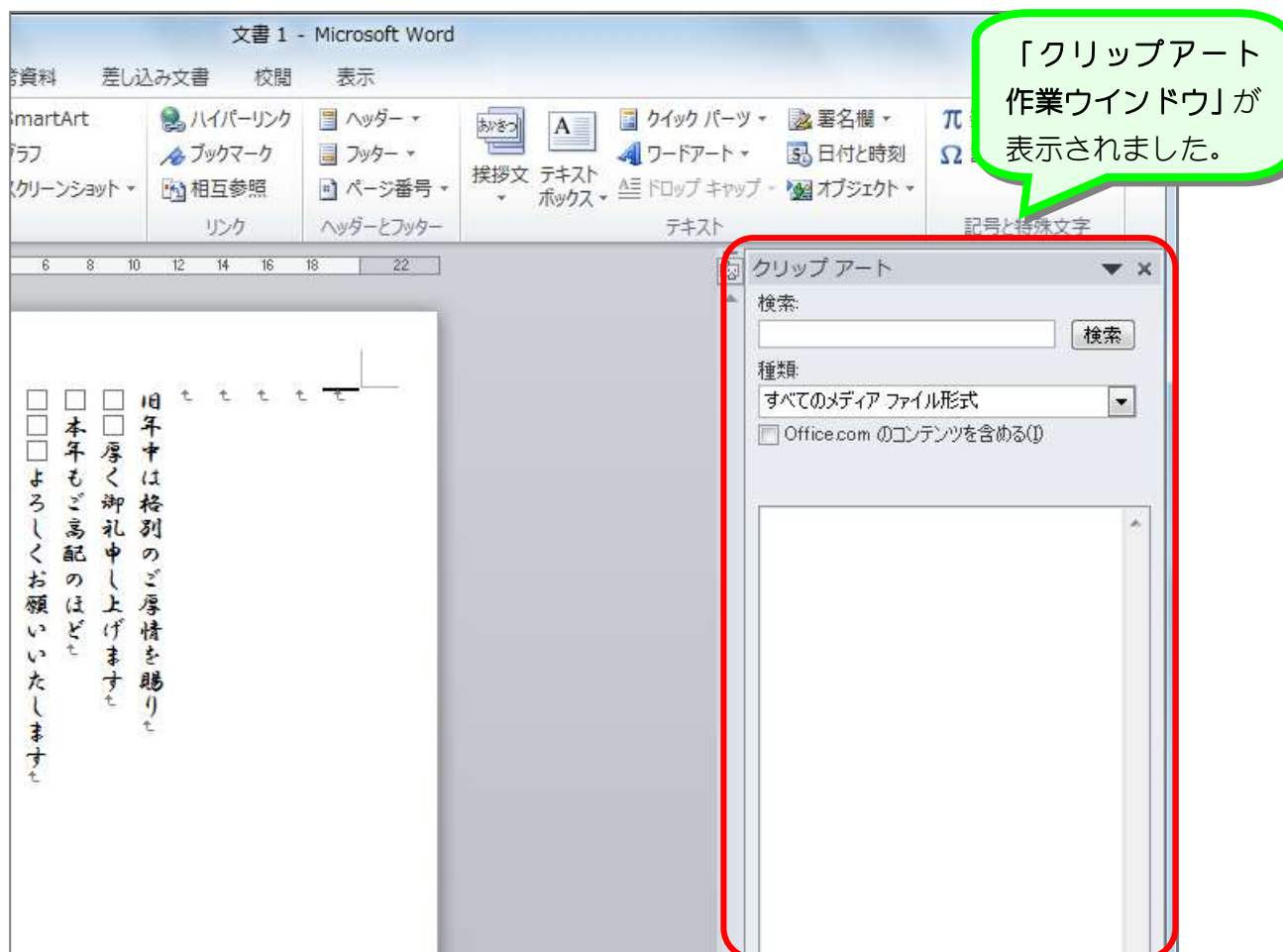
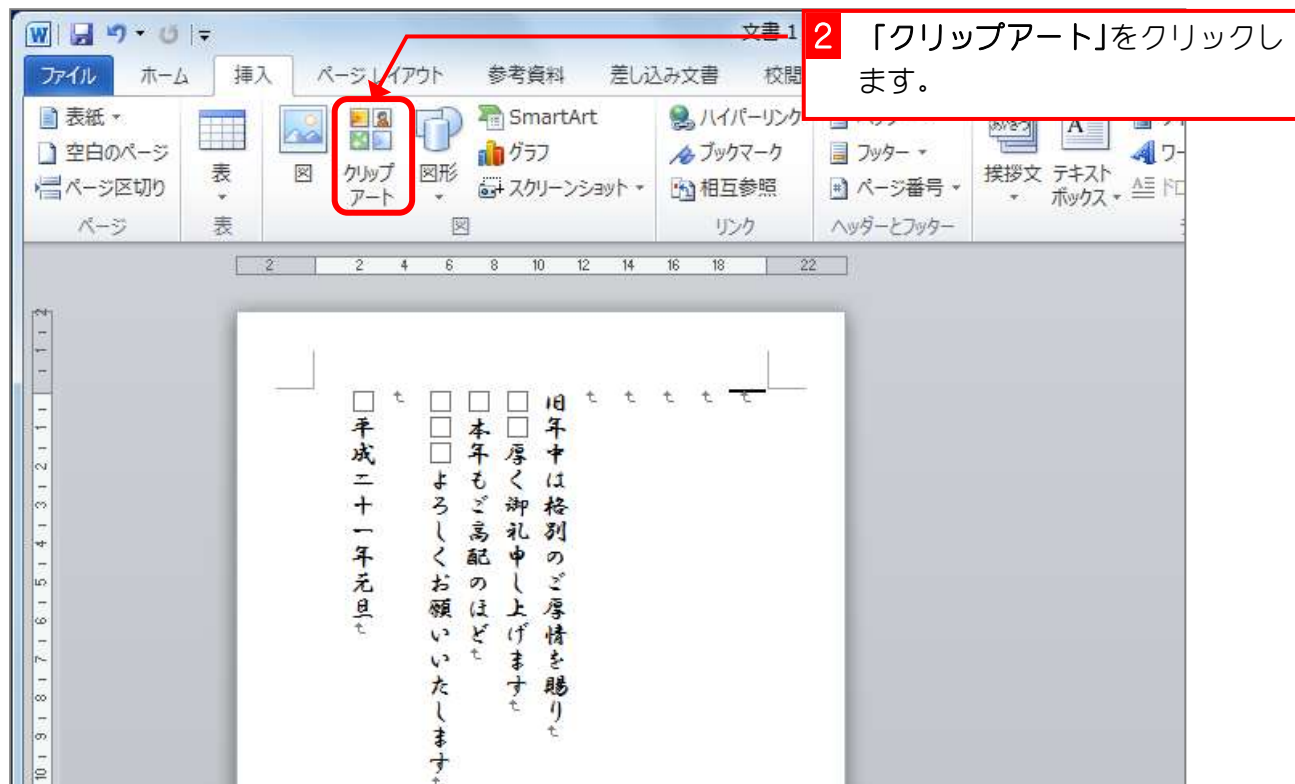
STEP 2. クリップアートを挿入する

1. カーソルを 1 行目に移動しましょう

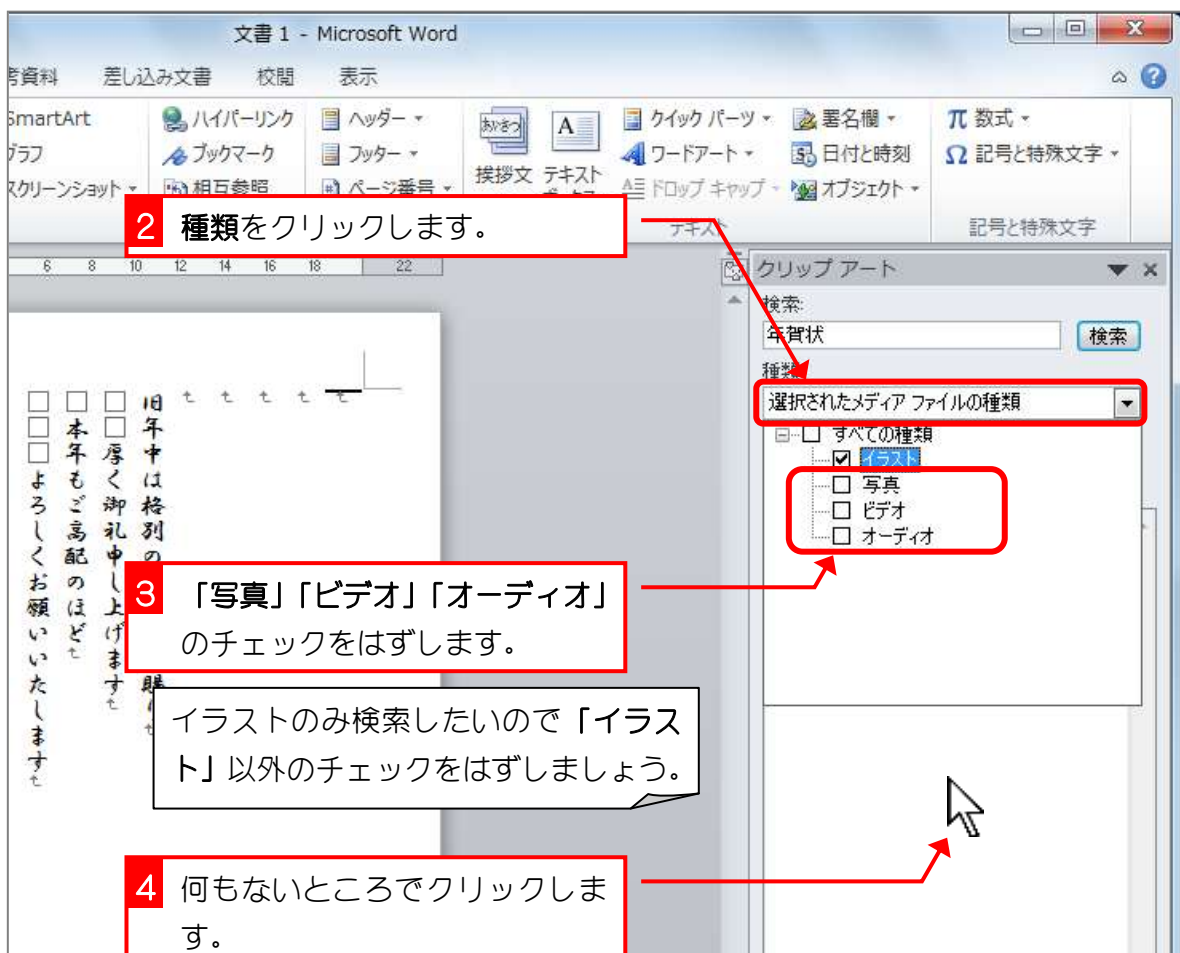
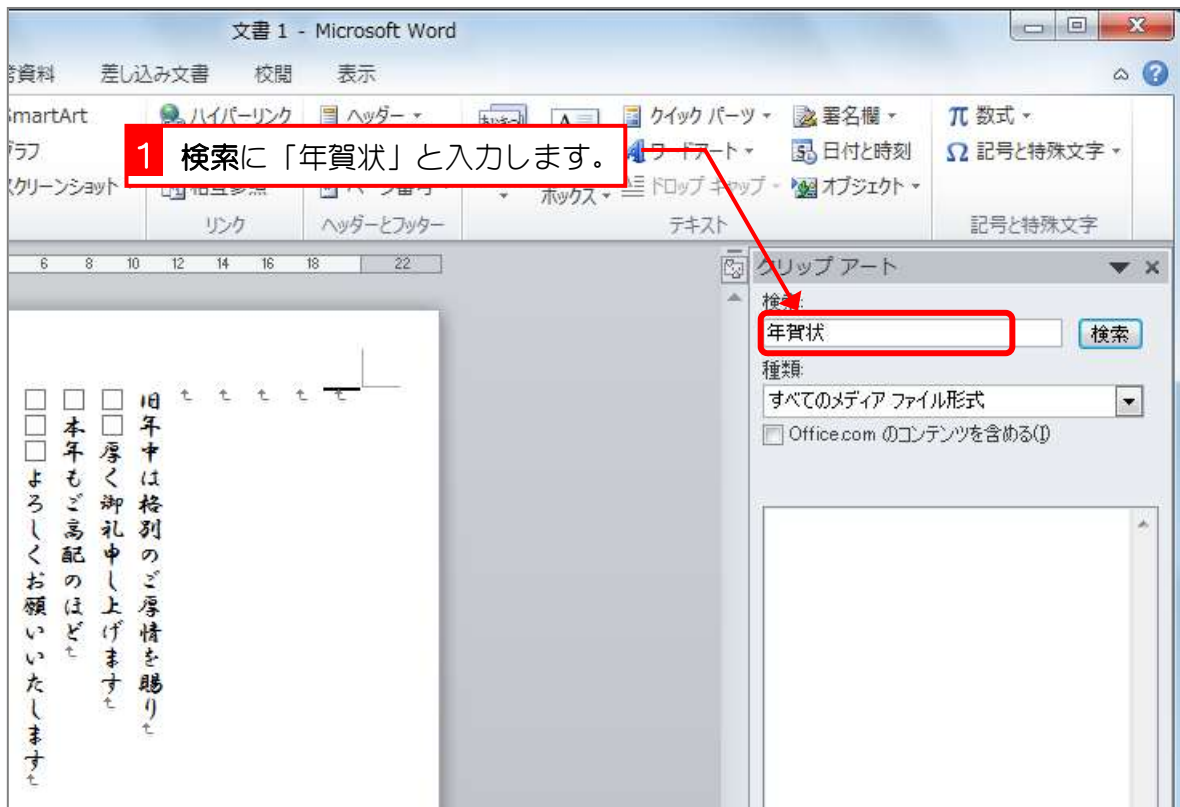


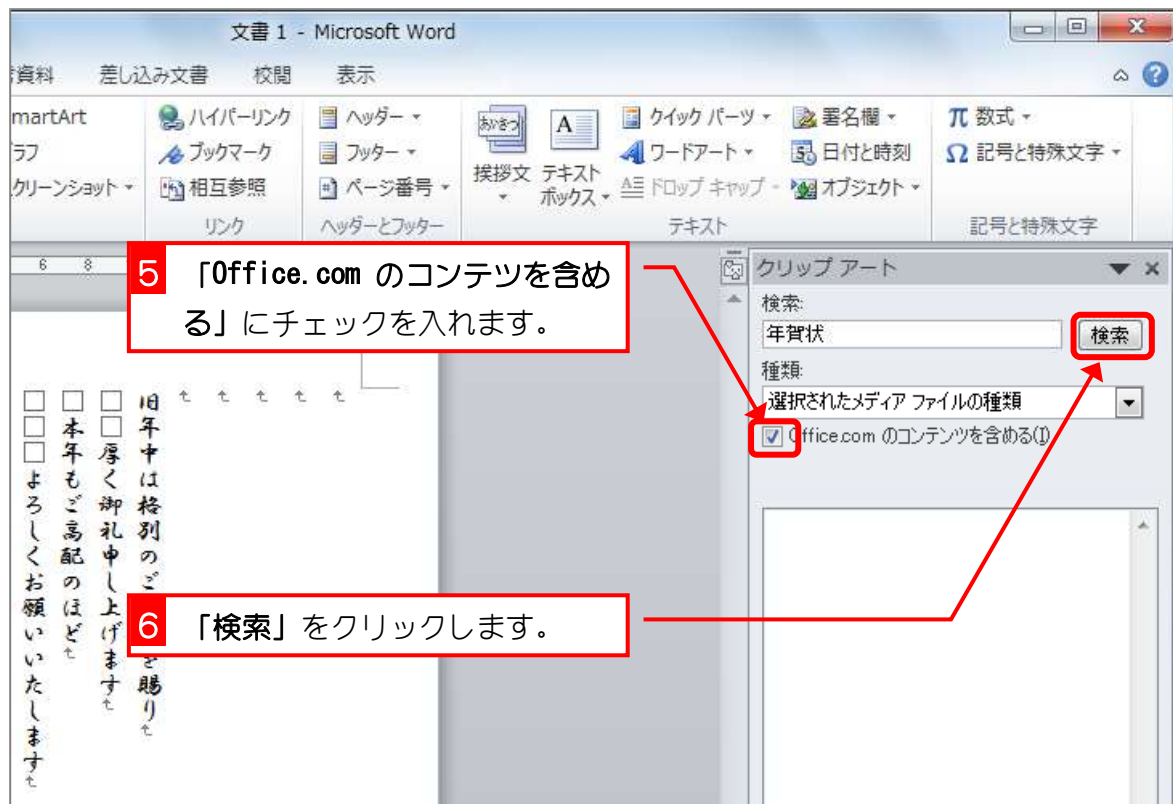
2. クリップアート作業ウィンドウを表示しましょう





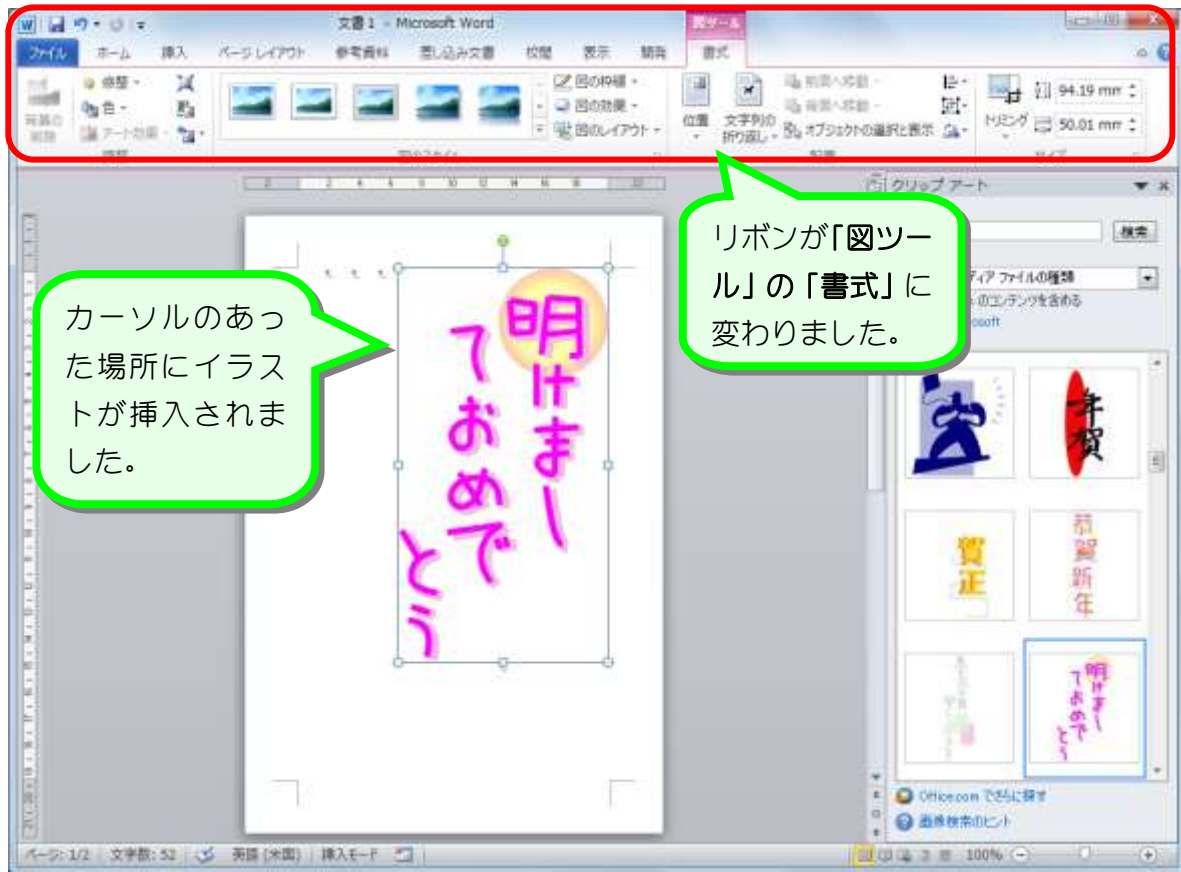
3. 年賀状のイラストを検索しましょう



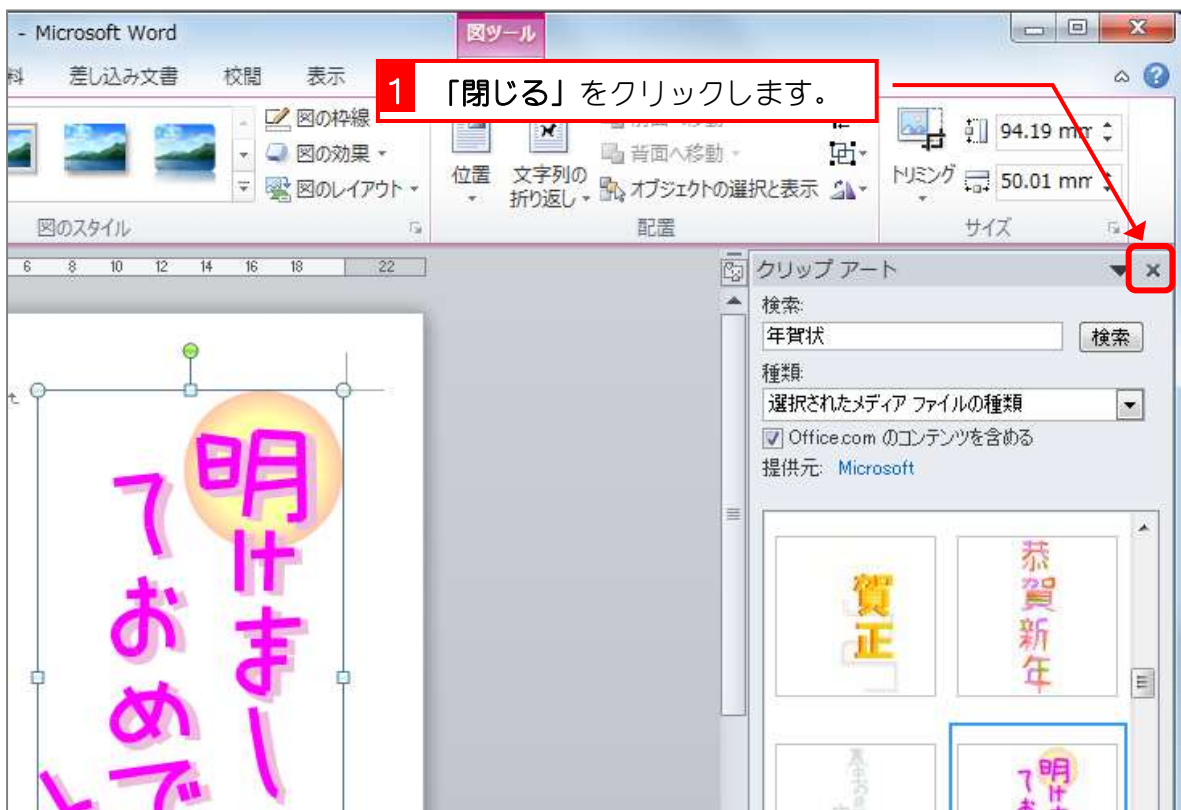


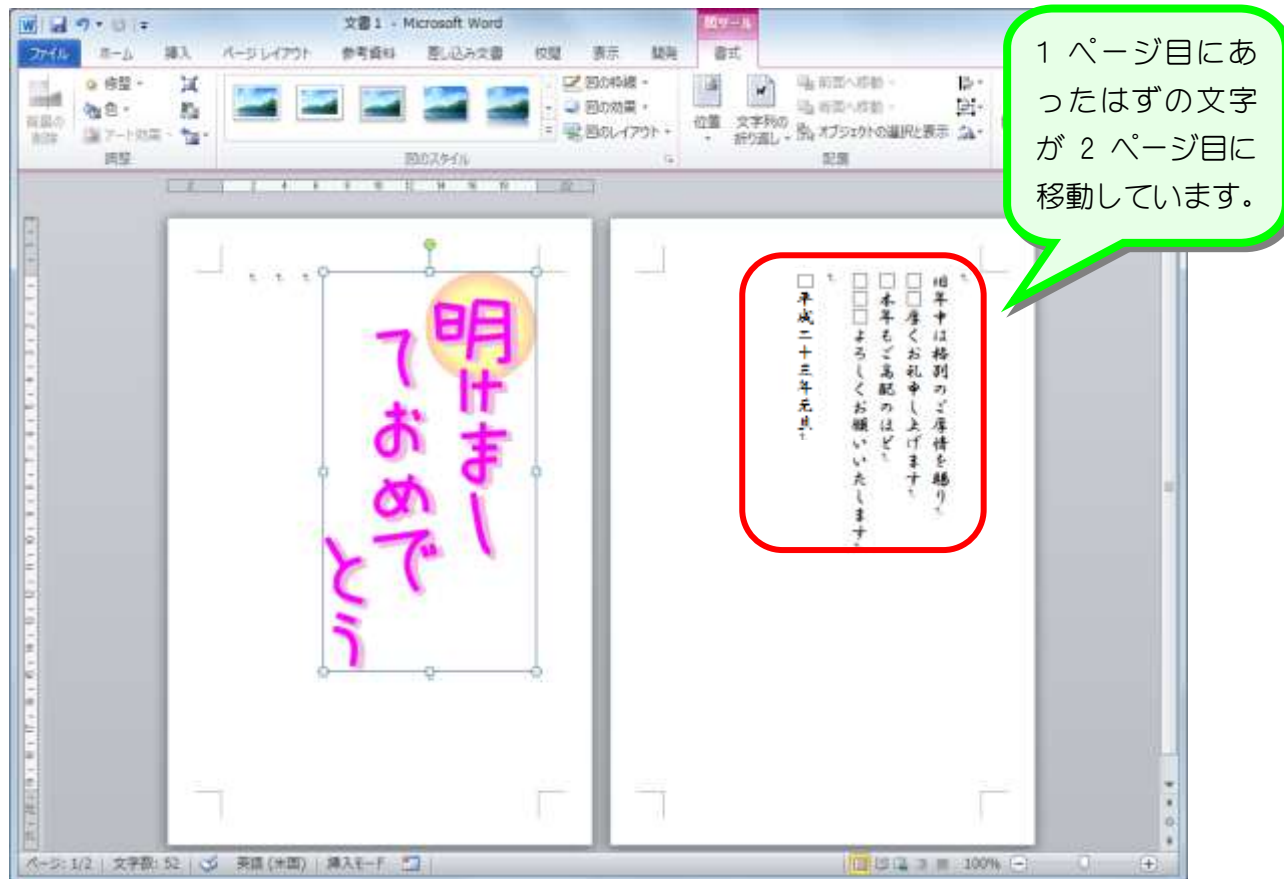
4. ワードの文書内に挿入しましょう





5. クリップアート作業ウィンドウを閉じます





解説 文字列の折り返し「行内」

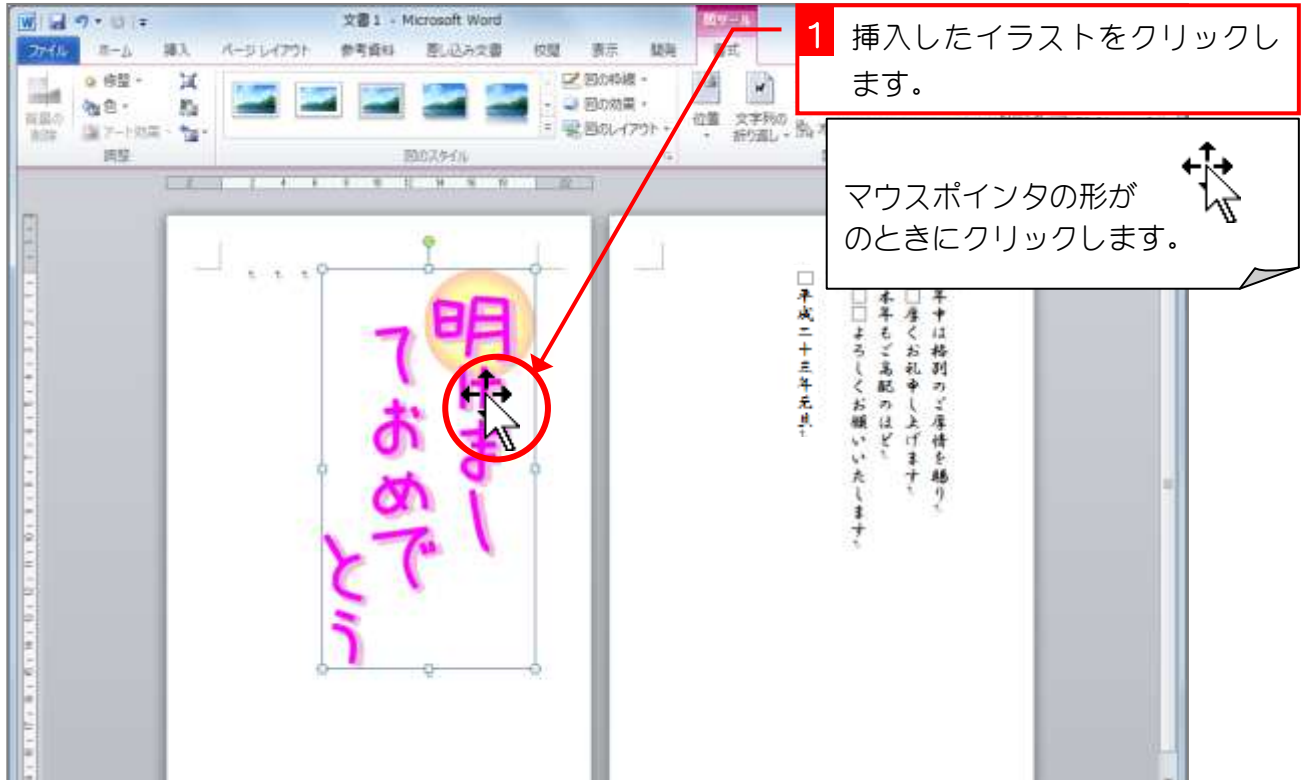
イラストを文書中に挿入した時に文字が移動してしまうのは、イラストと文字の関係を決める設定（文字列の折り返し）が「行内」になっているからです。

文字列の折り返しが「行内」の場合イラストは文字と同じようにふるまいます。つまり、カーソルのある場所に大きな文字が入ってきたので、そこから後ろの文字が大きな文字（イラスト）に押されて移動してしまっただけです。また文字列の折り返しが「行内」の場合イラストは文字と同じ扱いなので自由に移動することもできません。

イラストを扱うときは次に説明する「前面」の設定にすると扱いやすくなるので、ぜひ覚えてください。

STEP 3. 文字列の折り返しを「前面」に変更する

1. イラストを選択しましょう



2. 文字列の折り返しを「前面」に変更しましょう

